

ご葬儀費用についてのご説明

葬儀費用は、以下の4つの項目に大別されます。

葬儀施行関連費用（葬儀社の売上となるものです）

接待関連費用(飲食費、返礼品費)

実費関連費用(式場費、火葬料、各種車両費等 現金精算が必要なもの)

宗教者への謝礼

葬儀費用一式 万円という広告を目にされる事が多いと思いますが、葬儀関連費用のみの価格表示となっているケースが多いので、そのセットプランにどこまで含まれるのかを確認する必要があります。葬儀費用の中には、その仕様や会葬者の増減によって変動するものが多いため、予め総額で明示する事が非常に難しいのです。(変動要素についてはホームページでご確認ください。)
費用面を検討される際には、常に「総額でいくらかかるのか？」という視点を持つ事が必要です。

次にそれぞれ4つの項目について細かくご説明いたします。(仏式を想定しております)

葬儀施行関連費用

1. ご遺体ご安置費用

ご霊棺

ご遺体をお納めする「棺」の事です。ご遺体をお納めした後は「柩」となります。

主に天然木製(檜、樅、桐)、布張り製、桐の合板製の3種類があります。

中には彫刻が施された豪華なものがありますが、一般的には桐インロー型(合板)や布張り製の棺が使われる事が多いです。

寝具、寝装具、納棺費用(人件費)を含めた価格設定となっており、一番安いものでも5万円くらいから、高いものになると数百万円もする豪華なものまで多種多様なものがあります。葬儀社が持つ棺のカタログなどでお選びください。

美顔・美容・着付け

専門の美容師により、故人の爪を切りそろえ、髭を剃り、髪の毛をセットし、美顔処置を行います。

女性には薄化粧を施します。故人がお好きだった服や着物へ着替えを行う事もできます。

費用は通常お心づけを含めて3万円程度かかります。

経帷子

いわゆる死装束と呼ばれる白い着物の事です。

通常ナイロン製のものは棺とセットになっていますが、本格的な正絹の経帷子も用意できます。

3万円～20万円のものがあります。

湯かん

長くご入院されていた方には、最後に全身を清めていただくために湯かんを行います。昔はご家族でされていましたが、最近では専門の業者に依頼し、それをご家族が手伝う事が多いです。費用はお心付けを含めて 84,000 円となっております。

ドライアイス処置

ご遺体の腐食を防止するために、ドライアイス処置を行います。通常1日に1回取り替えて、お通夜の日まで続けます。1回当たり15キロのドライアイスを使用します。費用は1回につき 10,500 円 処置回数分のご請求となります。

枕花

ご遺体をご安置された後の枕飾りとして、喪主様がお花を一对用意します。菊でも洋花でも好きなお花をお選びください。(通常1対で 31,500 円～)

ご自宅仏間仕上げ

ご希望によりご自宅のご遺体を安置されるお部屋には、白幕による仏間仕上げを施します。本来は死の穢れを白幕によって封じるという意味合いがございましたが、最近の住宅事情を考慮すると、物理的にできない場合もございます。ご自宅で葬儀を行われる場合はもちろんの事、葬儀の前後にご自宅に会葬に来られる方が多い場合には、可能な限り行われたほうが良いと思います。費用は畳1畳につき 15,750 円 6畳間で 94,500 円となっております。

ご遺影

ご遺影は祭壇装飾、出棺時、火葬休憩時、初七日精進落とし、ご自宅飾り用に使用いたします。通常は四つ切サイズの物をご用意いたしますが、大きい式場をご使用の際、あるいはデザイン生花祭壇をご使用の際は、四つ切ではかなり小さくなりますので、全体の装飾とのバランスを考えて別途パネルサイズのご遺影をご用意させていただく場合もございます。費用は黒額で 31,500 円 白木上額で 47,250 円 パネルサイズで 73,000 円～となります。

前飾り(枕飾り)

ご遺体ご安置と同時に総檜製の経机、焼香用具、僧侶用座布団をご用意させていただきます。白木位牌は、ご納棺の際にお持ちします。弊社で葬儀をご用意いただく場合は無償とさせていただきますが、葬儀を行わずに火葬手配のみご用命の場合には焼香用具、白木位牌の実費分を申し受けます。

後飾り祭壇

葬儀(火葬)後、ご自宅でご遺骨、お位牌、ご遺影を安置する小祭壇と焼香用具をご用意いたします。通常3段(2段にもできます)の机と白い被せになりますが、ご家紋つきの綸子被せもご用意できます。ご納骨後に不要の場合は引き取りに参ります。費用は3段で 15,750 円(2段は 10,500 円)、綸子被せ付は 31,500 円です。

2. 式場内装飾、生花装飾、式場外装費、人件費など

祭壇装飾

・白木祭壇

白木祭壇は極楽浄土を意識して表現しております。ご自宅用の祭壇から、大規模式場でも十分に荘厳できる大きな祭壇まで各種取り揃えております。仏式のご葬儀にはなくてはならない表現でございますので、故人のご生前のご偉功に相応しい物をお選びいただくと宜しいかと存じます。いただいたご供花をスロープ形式で装飾すると、より一層の荘厳となるでしょう。ご家庭用で 210,000 円～、式場用で 362,500 円～（設営人件費、運搬費含む）

・生花祭壇

最近ではデザインの凝った生花祭壇をお使いになるケースも増えております。白木祭壇同様各種取り揃えております。使用するお花のボリュームと種類、デザインで費用が決まります。

頂戴した供花（1基 15,750 円）を祭壇装飾費用に充当いたします。

例えば 20 基分の供花を頂戴した場合、15,750 円 × 20 基 = 315,000 円を生花装飾費用から差し引かせていただきます。

お供物

祭壇上にお供物としてお菓子と果物をそれぞれ 1 対飾らせていただきます。

祭壇の大きさと内容が変わってきます。（ご家庭用 10,500 円～、式場用 21,000 円～）

各種生花装飾

・祭壇脇生花装飾

従来はかご花（菊あるいは洋花）にご提供者の名前を入れた木札を飾るケースがほとんどでしたが、お花がたくさん頂戴できそうなケースでは、白木祭壇の両脇にスロープ形式で装飾されるケースが増えております。その場合にはご提供者の名札を芳名板で掲示いたします。

・式場シンボル花

スロープ形式の場合には、白木祭壇の両脇に大きめのシンボル花（洋花）を 1 対ご用意します。このお花にのみ喪主あるいは 家（社葬の場合は 会社）として木札を立てます。

・祭壇上装飾花

白木祭壇の上に生花を 1 対装飾いたします。孫一同などの小さな札を立てる事もできます。

・ご遺影前装飾、ご遺影ポイント花、花額

故人のご遺影を引き立てるために、ご遺影の前や縁を生花で装飾いたします。

・焼香花

焼香台や返礼品お渡し所の机、受付・記帳所などに小さなお花を飾ります。

・提灯下、看板下装飾

提灯と式場大看板の下を生花で装飾いたします。

・納棺花

お別れ用の花束をご用意します。リースにする事も可能です。

弊社では特別サービスとしてご納棺用にバラの花びらだけをご用意しております。

式場内装飾

・白幕仕上げと床養生

一般的に式場内は白幕で装飾することになります。(幕が張れない式場もあります)
祭壇の後のみ、あるいは祭壇を囲んでコの字型、あるいは式場全体を覆う場合があります。
また式場によっては床を養生する必要がある場合もございます。
全て使用する式場の状況に応じて費用が違ってまいりますのでご注意ください。

・ご家紋つき水引幕と焼香用立ち袋

水引幕も式場のサイズによって大きさが異なるため、費用も若干変わります。
また焼香用立ち袋は、使用する焼香台の数量の数だけ必要となります。

式場外設備

・受付設備

ご会葬者が少人数(30名以内程度)の場合には、式場の中に机とイスのみの簡易な受付スペースをすることで対応できますが、会葬者が50名を越える場合には式場によっては受付用のテントが必要となります。最近では芳名帳を使わずに、受付カードを使うケースが多いですが、その場合には記帳所用テントを張る事になります。

また会葬者が多い場合には、会葬者用のテントも必要になりますし、雨天の場合は急遽テントを追加するケースもございます。

受付設備はテント、防風幕、鯨幕、机、イス、受付盆、書類箱、金庫、筆記用具、文具、荷物用の棚、立て札、灰皿、下足用紙合札、スティックライト、電灯設備等

会葬者のご人数によって、受付の規模や装備が変わってきます。

机とイスだけなら 21,000 円 ~ テントを含んだ受付設備は一番小さいものでも 157,500 円 ~ となっております。

・各種看板類

式場用の大看板、道案内看板、駐車場看板、プラカード、受付区分札が必要となります。
それぞれ看板の数量、大きさと素材、字体によって料金が違ってきます。

大看板1枚、案内看板5枚で 31,500 円 ~ 84,000 円

・高張提灯

式場の入り口には高張提灯を備え付けます。提灯の下には裾庭作りという生花装飾を行います。生花装飾を含めて 31,500 円 ~ (標準的なものは 52,500 円となります)

・冷暖房費

夏場は扇風機(1台 5,250 円 ~)、冬場はストーブ(1台 15,750 円 ~)が必要となります。

音響・照明設備

ご自宅や小規模斎場では簡易の音響・照明設備をご用意します。(10,500 円 ~)

中規模以上の斎場では、本格的な音響が必要となる場合がございます。(168,000 円 ~)

各種消耗品

お線香、蠟燭、香墨といった焼香用具、芳名帳(受付カード)、香典帳、喪章類 など
会葬者の人数で設定いたします。

施行人件費

ご遺体ご安置から葬儀施行(司会進行、誘導・案内 場内整理 火葬場同行など)に必要な人員の件費です。葬儀施行にかかる工数(必要人数と時間数)で設定いたします。

記録撮影費及びアルバム作成費

プロカメラマンを手配し、葬儀の記録を撮影しアルバムにいたします。(168,000円～)

接待関連費用(飲食費、返礼品費)

1. 会葬礼状と粗供養品の選定

会葬礼状

念の為予想されるご会葬者のご人数分より少し多めにご用意させていただきます。お通夜の際に、翌日分が不足しそうになりました際には、増刷をさせていただきます。尚、増刷も含めて印刷は100枚単位となります。(100枚単位で10,500円)

粗供養品

クオカードやパスネット、図書カードなどをお渡しすることが多いです。(1セット800円)
各種カード類にミニタオルやハンカチをセットにする事も可能です。(1セット1,130円)

返礼品(即日返し)

お通夜・葬儀の時点で香典返しを行ってしまう事もできます。
通常戴いたお香典(平均6,000円～7,000円)の半返しや1/3返しと言われておりますので、10,000円以内の方には、2,000円～3,000円程度のお品をご用意されれば良いと思います。
香典返しは残らないものが望ましいので、弊社では洋菓子セットをよくご利用いただきます。尚、高額のお香典(20,000円以上)を頂戴した方には、別途忌明けに別途お香典返しをされた方が良いでしょう。

2. 接待費

通夜のお清め料理

お通夜に来られた方には通夜ぶるまいとしてお食事を用意します。
お寿司、お刺身、煮物類、オードブルなどを仕出し屋さんを手配するのが一般的ですが、(1人前3,150円～ 平均的には4,200円～)、寿司職人を呼んでその場で寿司を握ってもらったり、一流ホテルのケータリングサービスを手配する事もできます。(1人前10,500円～)
料理の数量は足りなくても余らせても良くないのですが、会葬者がどれだけ来ていただけるかわからない時点で、お料理の必要数の予測は非常に難しいです。
弊社独自の計算法は(ご親族の人数+係員の人数)+(一般会葬者の人数の50%)で、試算します。例えばご親族30名、係員10名、一般会葬者60名 計100名と予測した場合(30名+10名)+(60名×50%)=70名分 となります。経験上ほぼ充分な量です。

精進落しの会食

火葬場から戻り、繰上げ初七日法要を済ませた後に、精進落しの会食を行います。

通常は仕出し屋さんから懐石弁当を手配します。(通常 4,200 円 / 人 ~)

あるいは火葬場から直接和食のお店に行かれるケースもあります。(5,250 円 / 人 ~)

通夜の際に、翌日火葬場までお見送りに来ていただけのご親族、ご友人、会社関係者の

ご人数を把握して、翌日のお弁当の数量を確定させてください。故人の影膳もお忘れなく！

僧侶の食事の有無もご確認された方がよいでしょう。食事をされない場合は御膳料をお渡しされた方が望ましいです。

通夜、精進落しでのお飲み物

2日間にお飲みになられるお酒やソフトドリンクの費用です。通常式場に出入りされている酒屋さんが用意されるので、当日精算となるケースが多いです。(予めお預かりした実費分よりお支払いを行わせていただきます) 栓を開けていないものは返品となりご請求から除外されます。

配膳人人件費

お通夜のお清めと精進落しのお席では、配膳人を手配いたします。(12,000 円 / 人)

差し支えなければお心づけをお渡しください。(2,000 円 / 人程度)

葬儀係員のお食事

ここは葬儀社が申し上げるのは差し出がましい部分もあるのですが…

葬儀・告別式をお手伝いいただいた係員の方には、出棺後にお食事をご用意された方が
良いかもしれません。式場に戻って精進落しを行う場合には、同じ仕出し屋さん
に注文する事が可能です。その場合は、お料理と一緒にご請求させていただきますが、別の手段で用意する
場合には、予め実費を用意する必要があります。

またお手伝いいただいた謝礼として食事代をお渡しするのも良いかもしれません。

実費関連費用

実費関連費用は全て現金精算となります。予め必要な金額をお見積いたしますので、お通夜の当日にご用意くださいますようお願いいたします。

1. 式場使用料

葬儀に使用する式場の使用料です。通常使用開始前に現金でお支払いします。

菩提寺で葬儀をされる場合には、料金をご住職にご確認ください。

本来であるならば葬儀は菩提寺で行うことが望ましいですが、それが物理的に不可能な場合には、故人のご葬儀に相応しい式場をご紹介します。

またご遺族、遠くからお越しのご親族が式場に宿泊をされる場合は、貸し布団を手配させていただきます。尚、ご宿泊ができない式場もございます。

2. 車両関連費

寝台自動車

ご遺体を病院からご自宅(あるいはご安置される場所)までお運びするために使用します。

また、ご自宅から式場までお運びする際にも使用いたします。

費用は基本料金(10kmまで13,230円) + 走行距離加算となります。

シートやドライアイスを使用した場合、実費を申し受けます。

また寝台車を30分以上待機させてしまった場合、別途費用がかかります。

差し支えなければ心づけをご用意ください。(3,000円～5,000円/回)

霊柩車

ご遺体を式場から火葬場までお運びするために使用いたします。仏式では一般的には宮型となりますが、キリスト教徒と無宗教形式の方用に洋型車もご用意しております。

以下、10kmまでの基本料金

普通車 13,230円

特別車 19,950円

指定車 27,190円

新型車 34,540円

白木車 49,030円

洋型最高級車(キャデラック) 49,030円

心づけが必要となります。(5,000円～10,000円)

マイクロバス

火葬場に向かう際に、ご親族・ご来賓用に使用します。1台に24名まで乗車できます。

お帰りは通常式場までとなりますが、精進落しを式場で行わない場合には、ご指定の場所まで手配することも可能です。通常1台30,000円程度ですが、配車所より遠距離にある場合や走行距離によって料金が加算されます。心づけ(3,000円/台)が必要となります。

数名程度乗り切れない場合は、別途自家用車をご用意ください。火葬場の駐車場は台数に限りがございます。自家用車が3台以上になる場合には、もう1台マイクロバスを手配した方が良いでしょう。

ハイヤー

ご遺族は式場と火葬場の往復に際し、ご遺骨、ご遺影、お位牌をお運びする方3名が一緒のお車に乗っていただくためにご遺族専用車としてハイヤーを1台手配する事をお奨めします。

また菩提寺のご住職の送迎で必要な場合にもハイヤーを手配させていただきます。

差し支えなければ心づけ(2,000円/台)

尚、火葬場に行かれる方が10名以内の場合、自家用車2～3台で移動可能です。

その場合でも火葬場で混乱のないようにバラバラではなく、一緒に移動してください。

3. 火葬場関連

火葬料

式場から一番近い火葬場を利用する事が望ましいです。

東京都内の主な民営の火葬場では最上等、特別室、特別殯館という等級があり、その等級により料金が変わります。

最上等 48,300 円

特別室 104,000 円 (多磨葬祭場では特別最上等 85,000 円)

特別殯館 177,000 円

民営の火葬場では火夫に心づけが必要となります。(5,000 円 ~ 15,000 円)

公営の火葬場には等級はございません。心づけも不要です。また市によっては市内在住者の火葬料が無料の場合もあります。

収骨容器

収骨容器の種類(一般的には瀬戸・青磁・大理石の3種類)をお選びいただきます。

瀬戸白覆い 12,600 円

瀬戸金襴 13,700 円

青磁 31,500 円

大理石 44,100 円

ご戒名を入れることもできます。また、分骨される場合は事前予約が必要です。

休憩室及びご飲食代

火葬場においては、茶毘のお時間の間は休憩室でお待ちいただく事になります。その際の室料と飲食代は実費負担となります。公営の火葬場は、ほとんどの場合室料は無料です。

民営の火葬場では休憩室係員に心づけが必要です。(3,000 円)

宗教者への謝礼

通常は菩提寺様のご住職にお願いする事が望ましいですが、お寺のご都合や菩提寺がない場合には、当社にご相談ください。各宗派のご僧侶のご紹介をさせていただきます。

1. お布施(お経料とご戒名料)

通夜、葬儀・告別式、茶毘供養、初七日法要の際にお経をお唱えいただきます。

宗派によってはご納棺の前に枕経をお唱えいただけます。

ご戒名は菩提寺様から授けていただくものです。お布施の金額は菩提寺様にご確認ください。

2. お車代及び御膳料

ご住職のお経のお勤めに要したご移動には、お車代を差し上げる必要がございます。

またお食事をなさらないご住職には、別途御膳料をお包みした方が丁寧です。

尚、お車代・粗飯料には領収書が伴いませんので、予めご了承くださいませ。